

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	独語第二		
英文授業科目名	Elementary German II		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 電子工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	秋田 静男		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
(a) 主題 ドイツ語は英語と同系列の語族に属します。本授業ではドイツ語に特有な構造を把握しながら基礎文法を理解することに努め、次年度には「独検4級」合格を目指します。
(b) 達成目標 次年度以降、自ら文法事項を確認し実際のドイツ語文章がいかに関与しているかを捉えることが可能となること。

【前もって履修しておくべき科目】
独語第一

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
教科書：小林、森川他著『ドイツ語インフォメーション』（朝日出版社）2400円 辞書：『アポロン独和辞典』（同学社）4000円、ただし別の辞書でも可

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

本授業は、身についた外国語となるべき文法の基礎講座であり、細部には踏み込まず将来の礎となる基本的事項の習得に絞ります。但し、英語と比べドイツ語には語形変化が多いので、絶えず反復練習して必要事項を覚えるよう努力し毎回おおいに辞書を引いて予習・復習をしながら授業に参加してください。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

学期末試験の成績と平常点(授業態度、参加意欲等)から複眼的に判断します。なお、授業中における私語など勝手な行動を慎まぬ学生については厳しく対処し、授業への参加を拒否致します。単位の修得も認めません。

(b) 評価基準

「独語第一」の学習内容を土台として時制、枠構造、副文等が理解できて、書くことができる。

【オフィスアワー：授業相談】

月曜日、授業の前後の時間帯に講師室にて応じます。

【学生へのメッセージ】

近年のドイツ事情を鑑みたくえて、今後のヨーロッパ及び全世界においてドイツが果たすべき役割を考えれば、いまドイツ語の学習は不可欠でしょう。

【その他】